

## 第2章

### 奄美大島の生物多様性の特徴

---



アマミノクロウサギ (撮影: 平城 達哉)

## 1 生物の多様性が高い

奄美大島の北側には、生物地理区において大きな境界となる渡瀬線が位置しており、動物地理区では旧北区と東洋区が、植物地理区では全北区と旧熱帯区が区分されています。

そのため、アカマタ、ガラスヒバァ、ハブ、ヒメハブ、ハロウエルアマガエル、ヒメアマガエル等の東洋区を分布域とする動物や中琉球の固有種などが奄美大島を分布の北限としています。また、132種の植物が奄美大島を分布の北限としています。一方で北方系の生物も分布するなど、北方系の生物と南方系の生物の混在、豊富な降水量などの特別な環境、地史的な分離・独立の変遷など、さまざまな要素が重なり合っ、奄美大島の豊かな生物相が形成されています。

日本全体の生物種として確認されている種数は約38,000種、そのうち奄美大島での確認種数は5,083種となっており、国土の面積の0.2%に満たない奄美大島において、国内全体の生物種の約13%が確認されています。

また、奄美大島は多くの鳥類、チョウなどの昆虫類、ウミガメなどの爬虫類、クジラなどの海棲哺乳類の中継地・越冬地・繁殖地となっていて、これらの生物の来訪があることも生物多様性を高める要因となっています。

しかし、奄美大島における生物に関する情報は十分なものではありません。

### 奄美大島の確認種数

	在来種数			固有種数	
	日本全国	奄美大島	日本全国に対する割合	固有種数	固有種率
維管束植物 <sup>※1</sup>	約7,000	1,307	19%	125	10%
哺乳類	108	13	12%	8	62%
鳥類 <sup>※2</sup>	633	315	50%	2	1%
陸生爬虫類	72	16	22%	10	63%
両生類	74	10	14%	9	90%
陸水生魚類	約400	154	39%	9	6%
昆虫類	約30,000	3,254	11%	695	21%
陸水生甲殻十脚類	73	14	19%	3	21%

※1：亜種・変種を含む。 ※2：渡り鳥及び迷鳥を含む。

〔出典：「世界遺産一覧表記載推薦書 奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島（仮訳）（2019年1月 日本政府）」をもとに作成〕

### 奄美・沖縄における北限・南限種（植物）

区分	地域	種数	区分	地域	種数
北限種	奄美大島	132	南限種	奄美大島	20
	沖縄島	54		沖縄島	73

〔出典：「国立・国定公園の指定及び管理運営に関する検討会」第2回指定分科会資料（環境省 自然環境局 国立公園課）〕



アカマタ

〔撮影：浜田 太〕



ハロウエルアマガエル

〔撮影：常田 守〕

## 2 固有種が多く存在する

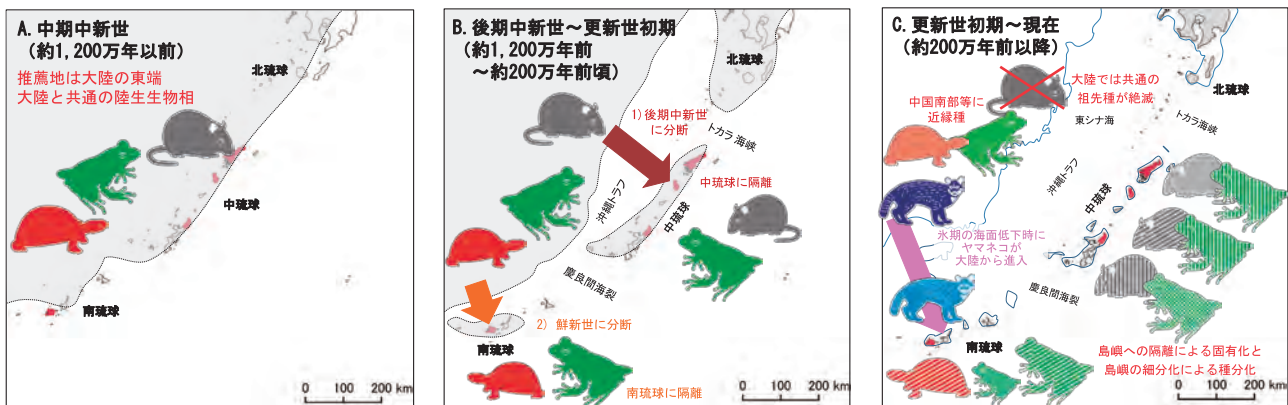
奄美大島の生物相は、後期中新世（約 1200万年前～ 500万年前）までに大陸から切り離されました。その際、大陸に存在した捕食者が島にいなかったため、大陸では捕食者の影響で絶滅したアマミノクロウサギなどの生物が、奄美大島では固有種<sup>1</sup>として現在でも遺存しています。

また、奄美大島は他の島嶼と分離された歴史が長く、島で個別に進化した生物が、現在では固有種・固有亜種として見られます。

奄美大島でこれまでに確認されている生物は、維管束植物1,307種（うち固有種125種）<sup>\*</sup>、哺乳類13種（うち固有種8種）、鳥類315種（うち固有種2種）、陸生爬虫類16種（うち固有種10種）、両生類10種（うち固有種9種）、陸水生魚類154種（うち固有種9種）、昆虫類3,254種（うち固有種695種）、淡水甲殻十脚類14種（うち固有種3種）とされており、多数の固有種等が確認されています。奄美大島の代表的な固有種・固有亜種として、アマミノクロウサギ、アマミシカワガエル、ルリカケス、アマミデンダなどがあげられます。

※：亜種・変種を含む。

### 奄美・沖縄地域島嶼の分離・独立の歴史



〔出典：「世界遺産一覧表記載推薦書 奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島（仮訳）（2019年1月 日本政府）」をもとに作成〕

### 奄美大島に生息・生育する代表的な固有種<sup>\*</sup>

区分	種名
哺乳類	アマミノクロウサギ、ケナガネズミ、アマミトゲネズミ、オリジネズミ
鳥類	ルリカケス、オオトラツグミ、オーストンオオアカゲラ、アマミヤマシギ
爬虫類	ハブ、ヒメハブ、ヒャン、アマミタカチホヘビ、バーバートカゲ、アマミヤモリ
両生類	イボイモリ、オットンガエル、アマミハナサキガエル、アマミシカワガエル
陸水生魚類	リュウキュウアユ、ハヤセボウズハゼ、キバラヨシノボリ、アヤヨシノボリ、ミナミアシシロハゼ、ミナミヒメミズハゼ
昆虫類	アマミマルバネクワガタ、ウケジマルバネクワガタ、マルダイコクコガネ、エグリタマミズムシ、アマミヤンマ、アマミサナエ、アマミルリモントンボ、リュウキュウハブロンボ
陸水生甲殻十脚類	アマミミナミサワガニ、リュウキュウサワガニ、サカモトサワガニ
植物	トリガミネカンアオイ、グスクカンアオイ、カケロマカンアオイ、フジノカンアオイ、ナゼカンアオイ、アサトカンアオイ、アマミウチワ、アマミクサアジサイ、アマミアワゴケ、ヒメミヤマコナスビ、アマミナツトウダイ、アマミデンダ、アマミヒイラギモチ、アマミスミレ

※ここでは琉球列島に固有なものを対象とし、固有亜種も含めた。

〔出典：「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び、西表島 世界遺産一覧表記載推薦書 付属資料3-2：種リスト（2019年1月 日本政府）」をもとに作成〕

#### 1 固有種

その地域にしか生息・生育・繁殖しない生物種のことです。その地域の個体群がいなくなることで、種そのものの絶滅につながるため、保護対象として重要なものです。

参考資料：奄美大島に生息・生育する代表的な固有種



アマミノクロウサギ ★



アマミトゲネズミ ★



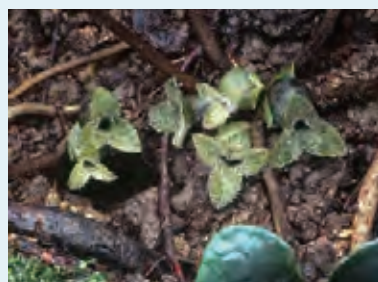
イボイモリ ★



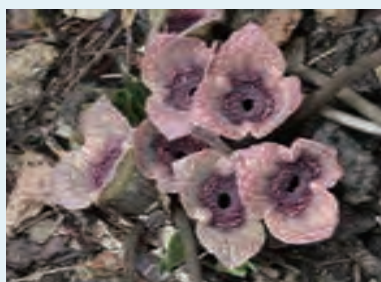
アマミシカワガエル ★



ルリカケス ★



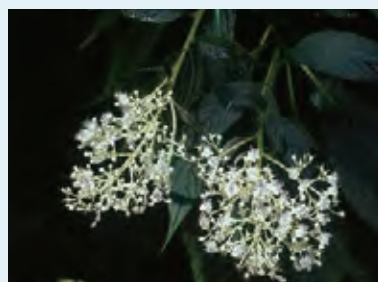
トリガミネカンアオイ ●



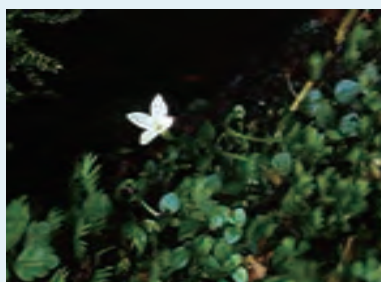
アサトカンアオイ ●



アマミウウチワ ●



アマミクサアジサイ ●



アマミアワゴケ ●



アマミナツウダイ ●



アマミデンダ ●



アマミヒイラギモチ ●



アマミスミレ ●



フェリエベニボシカミキリ ★

(撮影：★浜田 太、●山下 弘)

### 3 奄美大島の特異な気候が生んだ希少な動植物が存在する

奄美大島は、黒潮の影響を受けて、世界の亜熱帯地域でも限られた地域にしか成立しない湿潤な亜熱帯多雨林（常緑広葉樹林）が発達しているという特徴があります。

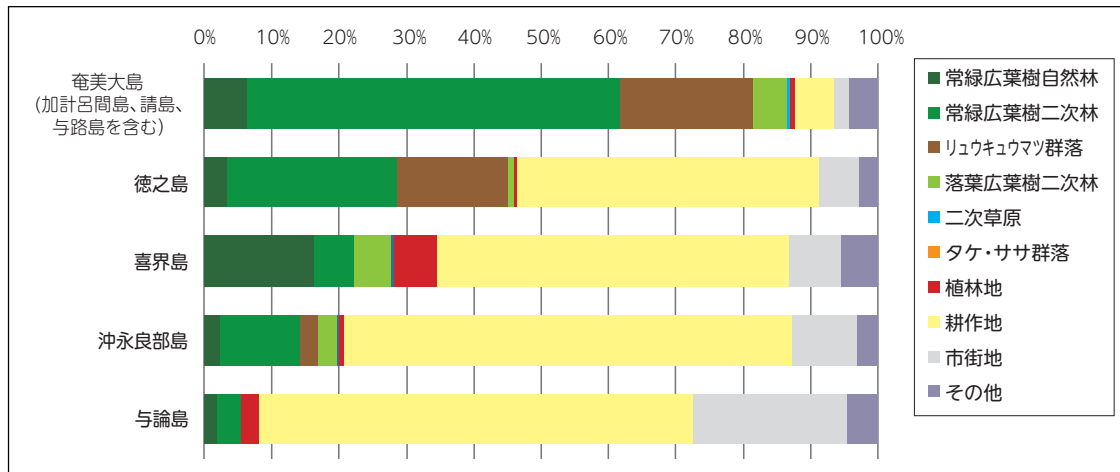
また、同じ気候条件にある奄美群島の中でも、奄美大島は特に、

- ・多くの森林が維持されており、森林域の連続性が保たれている
- ・高い山があり、特異な気候がもたらす大量の降水により、大きな河川が多い
- ・降水量が多いときには、川岸には周期的に冠水する溪流帯も存在している

など、他の島では見られない多様な生態系を有しています。

このような深い森林や豊かな河川と特異な気候が生んだ多様な自然環境に適応し、奄美大島には、さまざまな希少な動植物が生息・生育しています。その中でも、人為的な影響などによって特に減少が見られるために保護が必要な種等については国や県、市町村の法令によって、94種が希少野生動植物種に指定されています。

島嶼別植生区分面積割合



〔出典：鹿児島大学, 平成 22 年度持続的な地域づくりに資する琉球弧の世界自然遺産登録に向けた課題と方策に関する検討業務報告書資料編, 生物多様性戦略策定資料集 (鹿児島県) より転載〕

#### 奄美大島における希少野生動植物種指定状況 (国指定、県指定、市町村指定)

分類群	種数	国指定	県指定	市町村指定
哺乳類	5	5	0	0
鳥類	4	4	0	0
両生類	4	3	0	2
魚類	6	0	4	2
甲殻類	6	0	0	6
昆虫類	12	3	0	10
貝類	4	0	3	1
腕足類	1	0	0	1
植物 <sup>※</sup>	52	3	14	35
合計	94	18	21	57

※分類上の変更により現在、市町村指定植物種のうちケイタオフウランはアマミカヤランとされている。

〔出典：「希少野生動植物は県民みんなの宝です (平成31年3月 鹿児島県環境林務部自然保護課)」をもとに作成〕

## 4 人と自然との関わりの中で培われてきた自然がある

喜子川遺跡などに見られるように、縄文相当期にはすでに奄美大島で人の営みが行われていました。それ以降、狩猟、漁労、稲作、畑作を通じた人と自然との関わりが続いており、人と自然との長い関わりの中で形づくられた里地・里山・里海のような人と自然が共生する地域は、奄美大島の生物多様性を高める要因の一つとなっています。

また、この地域は、生産性が高く、現在の2倍近い人が暮らしていた昭和初期においても、島外からの物資に大きく依存することなく人々を養うことができました。一方で、各集落(シマ)には、周辺の自然を持続的に利用するための約束事や、生活の中に循環の仕組みを活かすための知恵と技があり、今日までそれが残されています。それは自然を畏敬し、自然と共生する生活文化そのものであり、ショチョガマや平瀬マンカイなど各地に残るアラセツ(豊年祭)行事やケンムン<sup>1</sup>伝説などの中にも息づいています。

また、豊かな自然は、農林水産業の恵みだけでなく、奄美黒糖焼酎や本場奄美大島紬などの特産品の製造や、エコツーリズム<sup>2</sup>・グリーンツーリズム<sup>3</sup>・ブルーツーリズム<sup>4</sup>や森林・海洋による癒やしを求める活動などの観光産業を生み出しました。さらに田中一村等の作品のように奄美大島の自然が絵画や写真、文学などの題材として新たな価値や文化を創出しています。



エコツアー

〔撮影：株式会社 マングローブ公社〕



ショチョガマ

〔撮影：浜田 太〕

### 1 ケンムン

奄美の森に棲むと言われている妖精・妖怪、自然の守護者とも言われています。

### 2 エコツーリズム

自然環境や歴史文化を対象とし、それらを体験し学ぶとともに、対象となる地域の自然環境や歴史文化の保全に責任を持つ観光のありかたのことです。

### 3 グリーンツーリズム

農山漁村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動の総称を言います。

### 4 ブルーツーリズム

島や沿海部の漁村に滞在し、魅力的で充実したマリライフの体験を通じて、心と体をリフレッシュさせる余暇活動の総称を言います。

## 5 世界的に重要な生物多様性に富んだ自然がある

奄美大島は、徳之島・沖縄島のやんばる地域・西表島とともに、「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」として世界自然遺産登録を目指しており、2020年(令和2年)の世界遺産委員会で登録の可否が決定されます。

2017年(平成29年)には、亜熱帯照葉樹林を中心とする生態系全体を管理する「生態系管理型国立公園」、人間と自然が深く関わり調和してきた関係そのものを対象とする「環境文化型国立公園」として「奄美群島国立公園」が指定されました。奄美大島には特別保護地区3,806ヘクタールを含む33,702ヘクタールの特別地域、628ヘクタールの普通地域(陸域)、213ヘクタールの海域公園地区が指定されています。また、保護林として「奄美群島森林生態系保護地域」(うち、奄美大島は2,045ヘクタール)と「アマミノクロウサギ等希少個体群保護林」(1,334ヘクタール)が2013年(平成25年)3月に設定されました<sup>5</sup>。さらに、日本の重要湿地500の中の7箇所が存在する他、Birdlife Internationalによる「重要鳥類生息地(Important Bird Areas: IBA)」とConservation International Japanによる「生物多様性の保全を進める上で鍵となる地域(Key Biodiversity Area: KBA)」として奄美大島全域が指定されているほか、WWF(世界自然保護基金)がIUCN(国際自然保護連合)、UNEP(国連環境計画)とともに策定した「世界環境保全戦略」でも奄美大島を含む南西諸島の生物多様性が世界的に重要であることが指摘されています。



奄美群島国立公園(大島海峡)

(撮影: 浜田 太)



森林生態系保護地域(金作原原生林)

(撮影: 浜田 太)

### 奄美群島国立公園(うち、奄美大島)

市町村名	特別地域						普通地域(陸域)	合計	海域公園地区
	特別保護地区	第1種特別地域	第2種特別地域	第3種特別地域	第1~3種計	特別地域計			
奄美市	2,453	3,194	6,841	381	10,416	12,869	341	13,210	144
大和村	407	965	3,699	57	4,721	5,128		5,128	
宇検村	153	1,940	2,065		4,005	4,158		4,158	
瀬戸内町	793	1,597	6,696		8,293	9,086	169	9,255	69
龍郷町		39	2,422		2,461	2,461	118	2,579	
計	3,806	7,735	21,723	438	29,896	33,702	628	34,330	213

2017年(平成29年)3月7日現在(単位: ha)

※普通地域(海域)を除く。

(出典: 「奄美群島国立公園指定書及び公園計画書(平成29年3月 環境省)」をもとに作成)

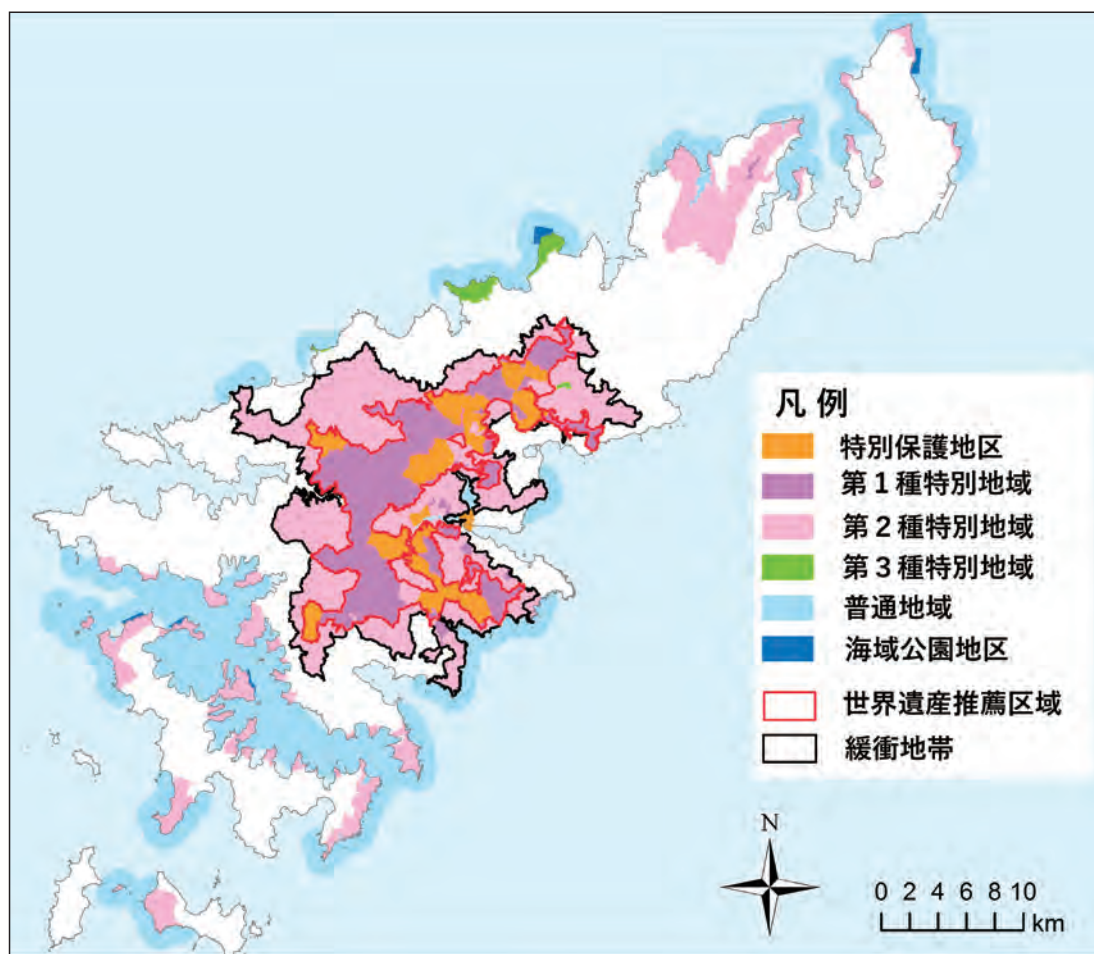
### 奄美大島の保護林

区分	地区	面積(ha)	
奄美群島森林生態系保護地域	保存地区	金作原	241.30
		神屋	161.05
		八津野	328.82
	保全利用地区	金作原	217.68
		神屋	469.03
		八津野	626.93
合計		2044.81	
奄美群島アマミノクロウサギ等希少個体群保護林	安木屋場等11林班	1334.39	

(出典: 「奄美群島森林生態系保護地域計画(平成28年3月) 九州森林管理局」をもとに作成)

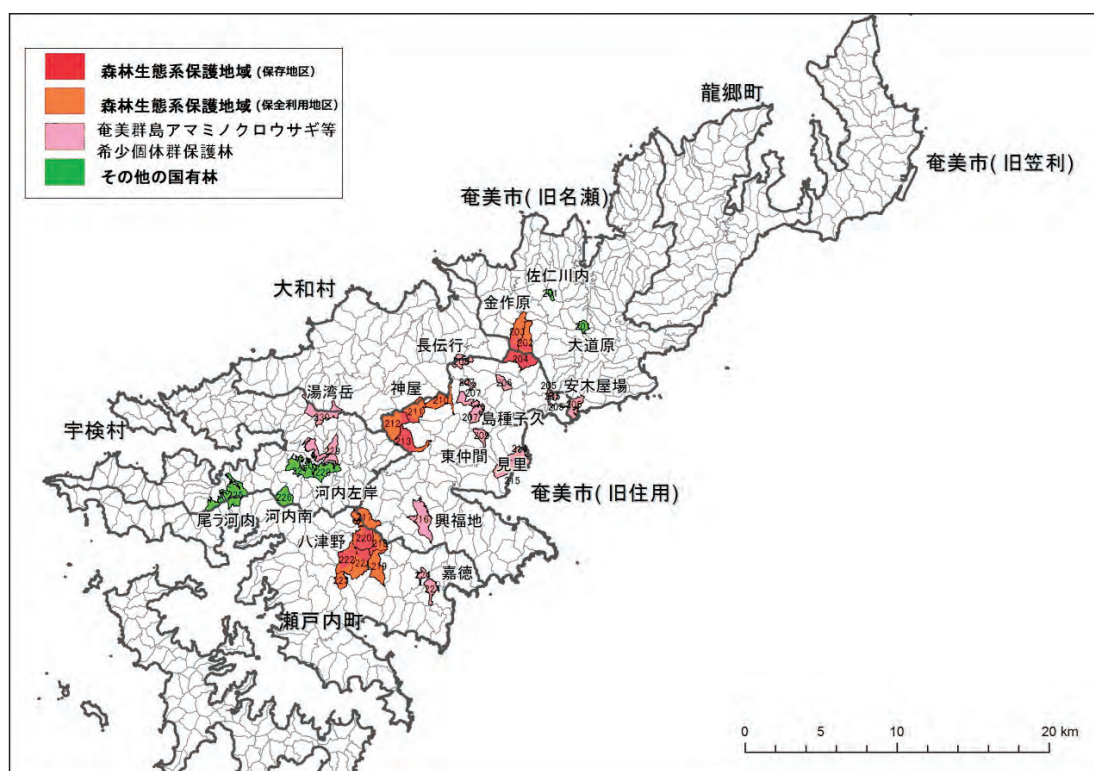
### 5 希少個体群保護林

2013年の設定当初は「奄美群島特定動物生息地保護林」でしたが、2015年の保護林制度改正に伴い、「林木遺伝資源保存林」及び「植物群落保護林」とともに、「希少個体群保護林」として再編されました。



奄美群島国立公園指定区域及び世界遺産推薦区域等

(出典：世界遺産一覧表記載推薦書 奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島 (仮訳) (2019年1月 日本政府))



森林生態系保護地域・希少個体群等保護林

(出典：「奄美群島森林生態系保護地域(九州森林管理局ウェブサイト)」をもとに作成)